

牧師 山本護 司式 平尾文子 奏楽 山本恵美

前奏	黙想	祈禱	
讚美歌	6 われら主をたたえまし	讚美歌	285 主よ、み手もて
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讚詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	マラキ書 2:10~11	黙禱	
	使徒言行録 1:15~19	主の祈り	564
讚美歌	II-182 丘のうえに十字架たつ	頌栄	539 あめつちこぞりて
説教	『赦しか、罪か』	祝禱	後奏

ペトロは120人ほどになった兄弟(信徒)の中に立って言った(使徒 1:15)。「ユダはわたしたちの仲間の一人であり、同じ任務を割り当てられていた。このユダは不正を働いて得た報酬で土地を買ったが、その地面にまっさかさまに落ちて、体が真ん中から裂け、はらわたがみな出てしまった(1:17~18)」。

おぞましい描写だ。ユダはバラバラになってしまい、もう復活の望みはない、という意味なのか。ユダの裏切りを思う時、拭いがたい疑問が頭の中を巡る。キリストの十字架が実現するために、ユダが裏切りの悪役を担わされたのではなかったか、と。カルヴァンは神の徹底した主権を述べて、運命や善悪、決断や悔い改めの自由意思も、私たちが誕生する以前から「神の予定」だと言う。その貫徹した論理は分るのだが、何か腑に落ちない嫌いな感じが残る。この嫌いな感じは何であろうか。

八ヶ岳教会は一人ひとりが聖霊に吹かれて、今のような姿になった。宣教のヴィジョンに沿って造られたのではない。そしてこれからも、教会に関わるあらゆる者が聖霊に吹かれ、新鮮な響きを発しながら造られ続けていこう。大技の「飛車角」、いぶしの「銀」、癖強い「桂馬」、実直な「香車」、さりげなくいるだけで局面を左右する「歩」。こうした一人ひとりが各々の姿のまま動き、その時々キリストの体が造られていく。「俺はせいぜい「歩」、くらいだ」と自嘲するだろうか。だが「歩」は敵陣に入ると「金」に化けて、八面六臂の活躍をする。現実の中で真剣に、縦横斜めに動く私たち一人ひとりの試みや失敗を、「予定」という神の必然に束ねてしまう論理には、嫌いな感じを覚える。

たとえカルヴァンの言う通りだとしても、そんなことは感知するところではない。「神の予定」なら、裏切りという悪役を「担わされた」ユダには、なぜ救いの望みが見えないのか。イエス逮捕に際して「そんな人は知らない(マルコ 14:71)」と否んだペトロや、イエスを見捨てて霧散した弟子たち(14:50)は救いに与っているのにどこが違うのか。だから「俺も一人のユダなのか」という恐れは当然、生じる。

ペトロは新たに加わった多くの兄弟たちに語る。「ユダはわたしたちの仲間の一人であり、同じ任務を割り当てられていた(使徒 1:17)」。この報告をどう解するか。ペトロには「ユダと自分は違わない」という罪責感があるように思われる。共に苦楽したユダに対する批難めいたものはなく、ただ起こった悲惨な結末だけを述べている(1:18)。それにしてもユダとペトロらを分けたものは何だったのか。

十字架の愛と赦しを、受け入れるか否かではないだろうか。他の弟子たちは、イエスを否認し霧散しながらも生き、かろうじて十字架を受け取った。十字架という神の子の犠牲は、いかなる背きをも上回ってその人を赦し給う。どんな道徳的な欠けがあろうともその人を愛し給う。それほどの十字架よりも、神の愛よりも、ユダは自分の犯した罪の方が重いと判断し(マタイ 27:3~5)、十字架を拒絶した。

「ユダは裏切り〜まことにユダは、主が慈しんでおられる聖なるものを汚し、異教の神を信じる娘をめとっている(マテ 2:11)」。このユダは、イスカリオテのユダではなく、昔の南王国のこと。「我々を創造された唯一の神(2:10)」の愛と赦しを第一とせず、この世的な文化や繁栄、経済や軍事に傾く民を嘆いている。十字架で肩代わりされた、私たちの命。そんなキリストの愛こそが、私たちの根っこ。

他者批判よりも自己への批判が尊い 過ちを省みる自己批判よりも存在を揺さぶる悔い改めが尊い
だが悔い改めはキリストの恵みを超えることはない いかなる罪や背きも十字架の赦しの内に在る

次主日 6/5 は聖霊降臨祭、聖餐式をおこないます。礼拝後に役員会。6/11(土) 13:30~15:00 聖書研究会、皆さんご参加を。牧師の動き:6/30 刑務所教誨、6/1 山梨 YMCA で聖書の話、6/6 刑務所教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。